

へんしんっ！

上映会&

トークセッション

三重県総合文化センターコネクトそうぶんプロジェクト
令和7年度三重県障がい者芸術文化祭 関連企画

体とからだ、人とひと。ちがうをつなぐ、こころとは。



へんしんっ！

監督・企画・編集：石田智哉 キャスト：石田智哉、砂連尾理、佐沢（野崎）静枝、美月めぐみ、鈴木櫻輔（大輔）、古賀みき プロデューサー・録音：藤原里歩
撮影：本田恵、壺井渥、松下仁美 監音：橋本昌幸 字幕監修：北川光子、木山直子、佐沢（野崎）静枝 音声ガイド制作：鈴木櫻輔（大輔）、美月めぐみ、平塚千穂子
アレンジメント：ベン・ペーン 協力：パリアフリー演劇結社ぱかりぱかり、立教大学しょうがい学生支援室、立教大学ボランティアセンター、パリアフリー映画上映会実行委員会
指導教授：藤崎誠 配給：東風 2020年/日本/94分/英語・Transform! ©2020 Tomoya Ishida 第2回 立教大学 映像身体学科学学生研究会スカラシップ助成作品 henshin-film.jpPFF 第42回びわ湖映画フェスティバル
PFFアワード2020 グランプリ

驚きの、喜びの、ドキュメンタリー。

(c) 2020 Tomoya Ishida

2025

12.11
THU

会場

トーク

上映

三重県文化会館レセプションルーム

15:15-16:00

13:30-15:05
音声ガイド／日本語字幕

音声認識アプリUDトークによる文字支援／手話通訳付

2025年12月12日(金)～14日、三重県総合文化センターで開催予定の三重県障がい者芸術文化祭に先駆け、障がいのある人の表現活動の可能性を取材したドキュメンタリー映画『へんしんっ！』（2021年公開）の上映会を行います。
上映後には石田智哉監督とろう者の廣川麻子さん（シアター・アクセシビリティ・ネットワークTANet理事長）によるトークセッションも開催。会場の皆さんの感想をシェアしながら、さまざまな「ちがひ」を架橋していくヒントを共に考えましょう！入場無料
事前申込制
(先着順)定員100名
未就学児入場不可

トークゲスト



いしだともや

石田智哉さん

『へんしんっ！』映画監督

映画監督。「ウルリッヒの会」役員。筋ジストロフィーによる電動車椅子ユーザー。立教大学現代心理学研究科博士後期課程在学中。初監督作品『へんしんっ！』（2020）がびわ湖映画フェスティバル「PFFアワード2020」でグランプリ受賞。2022年よりトリンドと砂連尾理の〈とつとつダンス〉プロジェクトに参加。



ひろかわあさこ

廣川麻子さん（シアター・アクセシビリティ・ネットワーク TANet理事長）

先天性ろう者、東京出身。1994年（社福）トット基金日本ろう者劇団に入団。2009年愛の輪基金タスクイン障害者リーダー育成海外派遣生として1年間英国研修。2012年シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)設立。2015（平成27）年度（第66回）芸術選奨文部科学大臣新人賞（芸術振興部門）受賞。東京大学にて芸術文化における情報アクセスの社会実装を研究中。

申込・お問合せ

三重県総合文化センター 総務部

TEL：059-233-1105（9:00～17:00）

月曜または月祝翌平日休館

WEB
申込

MAP



関連企画

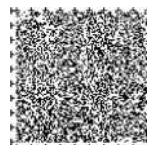
令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭

2025年12月12日(金)～14日(日)

作品展：10:00～16:00※最終日のみ15:00終了
三重県総合文化センター ギャラリー《入場無料》

お問合せ：三重県障がい者芸術文化活動支援センター

TEL：059-232-6803 E-mail：info@mie-asc.jp



音声コードUni-Voce



さまざまな「ちがい」を架橋するひとたち

電動車椅子を使って生活する石田智哉監督は、「しょうがい者の表現活動の可能性」を探ろうと取材をはじめた。演劇や朗読で活躍する全盲の俳優・美月めぐみさん、ろう者の通訳の育成にも力を入れているパフォーマーの佐沢静枝さん。多様な「ちがい」を橋渡しするひとたちを訪ねる。石田と撮影、録音スタッフの3人で始まった映画制作。あるとき石田は「対人関係でちょっと引いちゃうんです。映画でも一方的に指示する暴君にはなりたくないと思っていて…」と他のスタッフに打ち明けた。対話を重ねながら、映画のつくり方も変化していく。



とまどい、揺れながら、変わりつづけるその先に——

石田自身の心と体にも大きな転機が訪れる。振付家でダンサーの砂連尾理さんは、「しょうがい」を「コンテキストが違う身体」という言葉で表現した。「車椅子を降りた石田くんがどんなふうに動くのかを見てみたい」。そう誘われて、石田もパフォーマーとして舞台に立つことに。それは多様な動きが交差するダンスという関係性の網の目にみずからをあずける体験でもあった。とまどい、揺れながら、またあらたな表現の可能性が拓かれていく。



映画のプロが
激賞！

あたらしいドキュメンタリーの誕生

完成した映画は、第42回ぴあフィルムフェスティバル「PFFアワード2020」グランプリに輝いた。審査に関わった映画のプロたちが「とにかく興奮した」「映画をつくる楽しみが、画面全体から伝わってきた」と激賞した。映画の登場人物たちが迎える大団円を見つめる私たちは、スクリーンから溢れ出す表現する歓びに震え、知らぬ間に「へんしん」してしまった自分自身、心の底から驚くだろう。



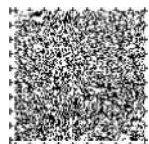
henshin-film.jp @henshinfilm fb.com/henshin.film01



驚きも戸惑いも、気づきも発見も、
みんなでシェアする「オープン上映」！



本作は、石田智哉監督が探究したものを表現するため、「日本語字幕」をスクリーンに投影し、「音声ガイド」を劇場内のスピーカーから流します。それをみんなで観ることによる気づきや発見をシェアしたいとの思いから、このかたちを「バリアフリー上映」ではなく、「オープン上映」と名付けました。はじめは驚きや戸惑いがあるかもしれませんが、ご覧になった一人ひとりがあたらしい感覚をひらき、面白さを感じてもらえたらうれしいです。



2025

12.11 (木)

上映：13:30-15:05

(音声ガイド/日本語字幕あり)

トーク：15:15-16:00

(音声認識アプリUDトークによる文字支援
/手話通訳付)

三重県総合文化センター

会場：三重県文化会館 レセプションルーム

(三重県津市一身田上津部田1234)

定員：100名 (申込先着順) 無料

MAP

WEB申込



音声コードUni-Voice

上映会に関する申込・お問合せ

三重県総合文化センター 総務部

TEL：059-233-1105 (9:00~17:00) 月曜または月祝翌平日休館

主催：三重県総合文化センター [指定管理者：公益財団法人三重県文化振興事業団] 協力：三重県障がい者芸術文化活動支援センター

(c) 2020 Tomoya Ishida